

# 羅現水画 入墨展

2021.9.18 土 - 9.26 日



本展は、高野山真言宗僧侶であり美術や舞台表現などで幅広く活動する羅入（らじゅ）による滋賀県で初となる個展です。現代水墨画を中心に立体作品を交えた羅入の根源世界に触れていただければと思います。ぜひご高覧ください。

根源たる生と死の混沌。目で見えるもの、耳で聞こえるもの、肉体で触れられるものは、揺るぎなき実感をもって我々の五感を支配する。しかしそれらは人間のフィルターを介して現れた世界の小さな断片であり、フィルターは我々を人間として成り立たせるための境界である。あなたが境界を垣間見るならば、人間がいともたやすく壊れることと壊れた先にある広がりと同時に識るだろう。



<http://kondon.org/laju>

1/「境界」2019年 2/「根源猫」 3/「UZU」2020年 (CDアートワーク)  
4/「百礼」2021年 5/「麗煌韶春瑞祥芳楽」2018年  
6/「日の生まるる極 荘厳し花挿する あまねくの御子」2014年

羅入（らじゅ）

高野山真言宗僧侶。京都墨彩画壇、日本書票協会会員。真言密教を土生川正道前官、水墨画を藤原祐寛、銅版画を蒲地清爾に師事。京都墨彩画壇展KBS京都賞他受賞。東京、京都、大阪、札幌、兵庫、富山、イタリア、台湾、韓国等で展示多数。また、密教系芸術集団「混沌の首」を共同主宰。大学、アートフェスティバル、美術館、ギャラリーなどでパフォーマンス公演、熊野本宮大社旧社地大斎原や丹生都比売神社などで奉納を行い、現代の踊り念仏と評される。アートも宗教も同じく「根源（普遍的集合無意識含む）」に還る術であり、「根源」に即したアーティストや宗教家は媒介者および顕現者であると考え、自身もそうあるべく「根源」に向かい制作・表現を行う。

観峰館では9月18日～11月21日に特別企画展「文人の行き交う街 近江商人が紡いだネットワーク」が開催されます。表面にある入館料で、羅入現代水墨画展、特別企画展、常設展、全てご覧頂けます。ぜひ合わせてお楽しみください。

書の文化にふれる博物館

## 観峰館

公益財団法人 日本習字教育財団 観峰館  
滋賀県東近江市五個荘竜田町 136  
TEL 0748-48-4141 URL <http://kampokan.com>

<交通のご案内>

- 電車・バスをご利用の場合
  - ①JR 琵琶湖線（東海道本線）能登川下車→近江鉄道バス（八日市駅行き）で金堂竜田口下車、徒歩約15分（全所要時間約25分）
  - ②近江鉄道五個荘駅下車、徒歩約15分
- タクシーをご利用の場合…JR 能登川駅から約10分
- お車（名神高速）でお越しの場合〔無料駐車場完備〕
  - ①名古屋方面彦根ICから国道8号で西（大津方面）へ約16km
  - ②大阪方面竜王ICから国道8号で東（彦根方面）へ約16km



新型コロナウイルス感染症対策として入館時に消毒と来館者カードの記入・検温をお願いします。館内ではマスクを着用ください。